

十勝の精神医療の中核として、街中にある 地域に密着した病院です



田園風景

病院の特色

当院は、昭和44年の開院以来、子供からお年寄りまでさまざまな年代の人々の心の問題に取り組んでいます。地域での生活を支えるために、共同住居、共同作業所等を設け、特に社会復帰に力を注いできました。この帯広・十勝が国内外から注目される精神医療の先進地域と認められるようになったその一翼を担っていると自負しています。

一方で、社会福祉法人を設立し、障害児の療育を含めた保育所・特別養護老人ホーム・精神障害者通所授産施設を設け、これも多くの人々に利用していただいています。障害者を病者としてではなく、生活者として捉える視点に立ち「生活のしずらさ」を持つ人々へ、薬物療法等さまざまな治療を併用し、さらに現実即した生活支援を展開しています。これからも、ノーマライゼーションの理念に基づき、本当の意味で豊かな社会作りに参加していきたいと考えています。

病院の理念

開かれた心で、地域での生活を願い、共に大きな喜びをわかちあえる大江病院でありたい

私達は以下を遵守します

- 一、患者様とご家族の人権を尊重し、プライバシーの保護に努め、接遇に配慮します。
- 一、患者様の個別性を重んじ、「生活者」としての視点もとり入れた、継続した医療を展開します。
- 一、患者様の自己選択、自己決定に基づいた「地域での生活」を援助する為、社会に働きかけます。
- 一、各職種間の情報交換を密にしなから連携し、協力して援助します。
- 一、患者様が安心して療養ができるよう、安全で快適な環境を提供します。
- 一、専門職としての責任性を全うするよう、積極的に自己研鑽に努めます。

看護部理念

人間だからこそ 病んだ心に、
人間だからこそ できる心のケアをすることに
私たちは在り、そして 患者様と共に 患者様の身近に
いつも在る 患者様の代弁者として
私たちが在ることに 責任とほこりを持ちます。

看護部方針

- ①家庭・地域の連続体として、病院の生活を捉える視点を持ち、チーム医療の一員とし、その人に行われる医療やケアを統合し調整します。
- ②「基本的ケア」をきちんとし、判断力や表現力が低下している患者様に 対等な人間関係を持てるように援助します。
- ③判断力や表現力・ADLの低下している患者様の安全を確保します。
- ④私たちは、自己研鑽を図りながら、上記を実践することで自己成長と自己実現をめざします。

病床数

合計154床

- 重度認知症病棟 54床
- 閉鎖病棟 40床
- 開放病棟 60床

デイケア

定員15人

- 重度認知症デイケア

看護体制

看護単位 4単位

看護方式 固定チームナーシング受け持ち制

勤務体制 2交代制

看護職員割合

看護職員 15: 1

ケアワーカー 30: 1

看護職員数

看護師・准看護師 60人

ケアワーカー 25人